

第23回 議会改革調査特別委員会 会議録

日 時 令和8年3月4日（水曜日） 午後1時40分 ～ 午後3時5分
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳 副委員長 梅田 徳男
委 員 川辺 隆 ~~委 員 芝田 英範~~ 委 員 安東 鉄男
委 員 甲斐 尊 委 員 平川 幸司

欠席委員の氏名

委 員 芝田 英範

オブザーバー

議 長 内藤 康弘

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋佳希 書記 原 伸行 副主幹 工藤真里子

傍聴者

記者 1名

協議事項

1. 市民アンケート結果の検証について
 2. 協議事項の整理について
 3. その他
-

午後1時40分 開議

協議事項

1. 市民アンケート結果の検証について

○委員長（伊藤 淳）

昨日の議員間討議会で、特別委員会委員以外の議員から「市民アンケート結果を受け、議会改革として実施すべき具体的な内容」の手段について、ご意見をいただいた。昨日の結果を受け、特別委員会としてのとりまとめを今回行いたい。

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

最終的には、これまでの意見を特別委員会で集約して、改選後も議会改革を不断の努力で取り組む内容としてまとめていきたいと思います。なるべく、シンプルにとりまとめていくため、市民アンケート結果の検証として6つに分類していましたが、議会改革として実施すべき内容については、4項目に取りまとめたところですので、各委員からの意見をお伺いしたい。

○委員（意見）

- ・非常にわかりやすい内容となっているため、この4項目での分類に賛成です。
- ・昨日の議員間討議会での意見は、個々の意見として発表されたものなので、特別委員会でしっかり検討しなおした方が良いと感じた。
- ・新たに出た意見の中で、傍聴環境の整備とパークゴルフに限らず、市民との交流の機会を作るという部分は、新たに取り入れるべき意見だと感じた。

⇒○意見（別の委員）

- ・「知らせる」の「全世代に情報が届くよう」の中に、YouTubeやSNSが入っているので、パークゴルフに対する考え方も同様で、市民と交流の機会を作る手段の一つだと考えている。
- ・施設整備の問題は、改善していくべき課題で市の担当部門に車いすでも傍聴できる環境整備について要望を出して行くべき内容だと感じた。ただ、議場内でも後ろの方が大きく空いているので、実施しようとするれば、すぐできることもあると思う。
- ・市民と議員の触れ合いを作る場を持つという視点は大切だと思う。
- ・議会だよりについて、市報の一部ではなく別冊で発行したらどうかという意見があったが、今後を見据えると情報発信する媒体としては、紙媒体ではなく、SNS等の媒体にしたほうが良いのではないかと思う。また、議会だよりは、これまでも別冊での発行を含め、検討した中で、市報に掲載してお知らせし、ページ数を増やし、議案賛否やいろいろな活動を掲載するようになってきた経緯がある。それらを踏まえ、次に引き継ぐとすれば、全世代に情報を届ける一つの方法として捉えるということではよいのではないかと思う。

○委員長（伊藤 淳）

6つの分類を4つの項目に取りまとめることとしたいと思います。

各項目の内容についても、これまでの議論のとおり、「知らせる」の部分は、全世代に情報が届くように取り組むとした内容でとりまとめながら、インターネット配信の手段として、これまでYouTubeを検討してきたので、議会だより、YouTube、SNSを今後の取組の選択として列挙したいと思います。また、「呼び込む」については、傍聴席に車いすなど配慮が必要な方にも来てほしいという思いから、傍聴環境の整備に関する内容を追加したいと思います。文言としては、『配慮が必要な方にも対応できるよう傍聴環境を整備する』とします。「打って出る」としては、パークゴルフ大会や自治会を対象として意見交換などを通した市民との交流の機会をつくるという表現としたいと思います。

以上のように、全体的なとりまとめとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声)

○委員長(伊藤 淳)

4つの項目に取りまとめているのですが、取りまとめの標題、『知らせる』、『呼び込む』、『打って出る』、『議員の中で練る』を提案しているのですが、取組をわかりやすくしたく表現したものとしたと思いますが、各委員からご意見はありますか。

○委員(意見)

- ・『議員の中で練る』は、分かりにくいように感じる。全ての標題を一言にするのが良いと思うので、議員が『考える』はどうでしょうか。
- ・言葉遊びのような感じになるが、もう少し丁寧な表現で、『知らせる』を市民に『お知らせる』、『呼び込む』を議場に『来てもらう』、『打って出る』を市民に『会いに行く』という表現とすると分かりやすくてよいと思う。

○委員長(伊藤 淳)

簡単でわかりやすい言葉が良いと思っていたので、ご提案のあった通り、『お知らせする』、『来てもらう』、『会いに行く』、『考える』の分類でよいでしょうか。

(「異議なし」の声)

○委員長(伊藤 淳)

それでは、今回協議した結果を整理して次回、最終確認していただこうと思いますので、よろしくをお願いします。

【協議結果】 ・議会改革として実施すべき具体的な内容を、『お知らせする』『来てもらう』『会いに行く』『考える』の4つ項目にとりまとめることとし、とりまとめの具体的な内容を以下のとおりとし、最終確認を次回行うこととした。

●お知らせする

- ◇ 全世代に情報が届くよう様々な形での情報発信。
 - ・議会だよりの充実。
 - ・YouTube(本会議の生配信など)は早急な実現を目指す。

・ SNSを活用し、情報発信。

◇ 委員会、議員・議会活動全般の情報発信を検討。

◇ 公開性を高めるよう取り組む。

●来てもらう

◇ 議場コンサートや議会体験会などの取組を継続的に実施。

※若年層（中学生やその親世代）との繋がりの充実を図る。

◇ 配慮が必要な方への対応として、傍聴環境の整備。

●会いに行く

◇ 議会主催の活動を実施し、交流の機会を作る。

◇ 自治会等を対象とした意見交換会の実施。

◇ 市民アンケートを定期的に行い、市民意見を聴取。

●考える

◇ 話し合う場・協議する場を作る。

※議員間討議会の活用を検討

◇ 研修の充実。

2. 協議事項の整理について

(5) 議員間討議会

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

議員間討議会については、これまで、1つのテーマについての討議にあわせて、どのようにやると有効かという検証を行ってきました。現時点では、今事務局から報告があったとおり、意見を自由に出していただく場としては、有効だったので、意見を深めるというより、広く議員全員から意見をいただくときに使うことは見えてきたかなと感じています。その使い方についてはとりまとめ、今後も検討を継続することとしたいと思いますが、各委員の意見を伺いたい。

○委員（意見）

・今の委員長のとりまとめでよいと思う。本日の協議事項1の際も多くの意見がでた。そこに活かされていると感じている。

○委員長（伊藤 淳）

この議員間討議会は、議長の提案により開始された経緯があるので、議長の認識をお伺いしてもよろしいでしょうか。

○議長（内藤康弘）

はい、ありがとうございます。意見を聞く場を作ってもらって、いろいろなご意見を出し

ていただいたことに感謝しています。取りまとめとしても、委員長の言った形でよいと思いますが、今後も取組を継続するのであれば、いろんな協議の内容があるかと思いますが、例えば議員定数のことなどで、あらかじめ全議員の意見を聞いておくべき時もあり得るので、そのような時にも活用できれば良いと思います。他の自治体で行われている議員間討議の研究もしながら、内容が充実していけば良いと思います。

○委員長（伊藤 淳）

他にご意見はありませんか。

（ な し ）

○委員長（伊藤 淳）

なければ、資料にある通りとりまとめをするということで良いでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

とりまとめ内容を、提案のとおりとしたいと思います。

【協議結果】 ・議員間討議会を議長や常任委員会、特別委員会が、さまざまな課題や問題点を検討する過程の中で、『議員一人一人の意見を聞く場』として今後も継続する。実施内容や開催手順などについては、令和8年度に今後整理する。

3. その他

・次回開催日時の確認 第24回 3月10日（水）本会議終了後

午後3時5分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和8年3月4日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳